

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月
国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

2. 学校概要

学校名 愛知県知多郡東浦町立緒川小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒470-2102
愛知県知多郡東浦町緒川八幡7

E-mail : _____

Website : http://ogawashou.blog119.fc2.com/

児童生徒数：男子 247名 女子 230名 合計 477名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育 (ESD) (国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動
生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 そのほか (生命尊重))
 そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

- ESDの視点で見直した総合学習のカリキュラム（ESDカレンダー）づくり
- 「チェックシート型アプローチ」による実践の分析と改善の方向性の明確化
- ESDの視点を取り入れた授業づくり

（例）5年「お米を育てて植物の命を学ぼう」

- ・ 地元の老人クラブの方から、米作りについてのお話を聞く。
- ・ 校内の田んぼで代かき、田植えに挑戦する。
- ・ バケツで一人一鉢の米作りに挑戦する。
- ・ バケツをどこに置いて稲を育てるか考え、実行する。
- ・ 農薬を使うか使わないかについて考え、実行する。
- ・ 米作り農家が抱える問題について考え、討論をする。
- ・ 田んぼとバケツの稲刈り、稲こきに挑戦し、お米の命について考える。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）

今年度の活動結果について（下記から選択して下さい。）

- 大変効果的な活動ができ、大変満足。
- 効果的な活動ができ、満足。
- 効果的な活動ができず、やや不満が残る。

どのように活動を学校のプログラムに盛込んだか記載願います。

総合的な学習の時間を使って実践を行いました。

今までの活動の中で、教育の質の向上に効果のあった活動がありましたら、記載願います。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など）
- CD-ROM
- 写真
- その他（ ）



地元の老人クラブの方から
米作りの話を聞く



代かきの様子



教えてもらいながら田植えに挑戦する



自分のバケツに田植えをする



日当たりのよい玄関前に置いたバケツ稲



はさみでバケツ稲を刈る

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

① 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。

5年「お米を育てて植物の命を学ぼう」で、校内の田んぼでの米作りに加えて、自分のバケツで一人一鉢の米作りに挑戦し、主体的に学習に取り組めるようにしました。

□ 実施テーマに関連した研究旅行の実施。

□ 他国の学校との交流や相互協力の実施。(交流した国、学校名の記載もお願いします。特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。)

□ 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記念する取組の実施。(国際母語の日、国際天文年、識字の10年など)